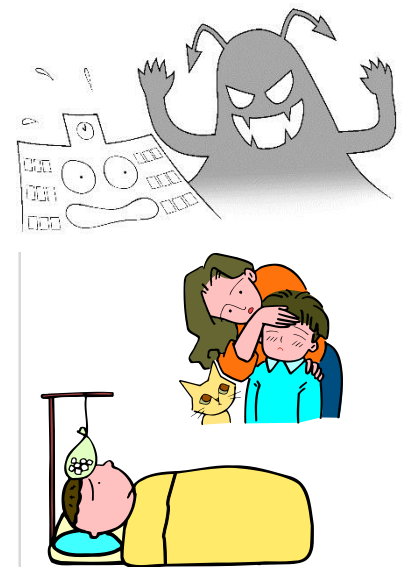
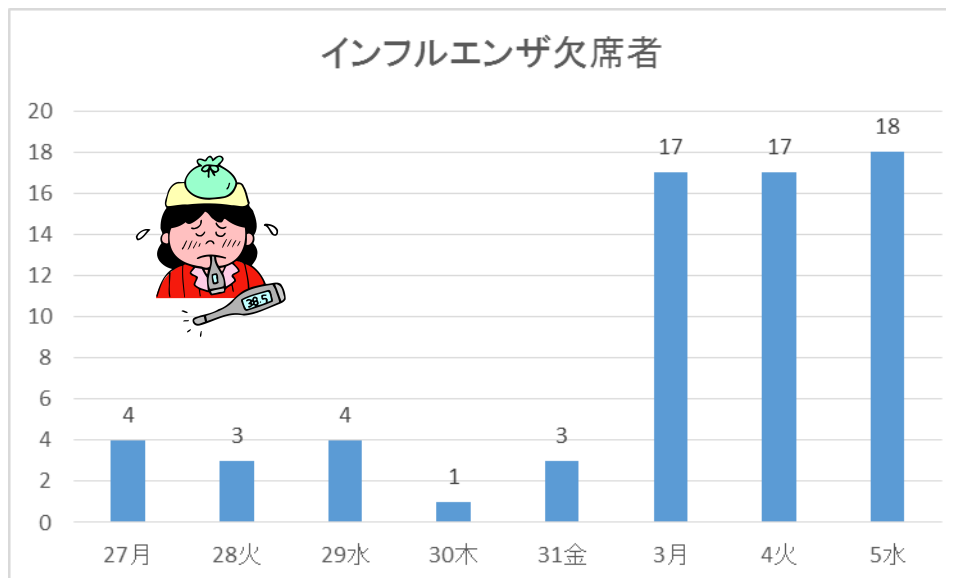


2月になり、急にインフルエンザで欠席する子が増えてきました。ノロウィルスの感染も心配される季節です。①手洗い ②うがい ③早く寝る ④しっかり食べる ⑤外で運動する。この5つは、インフルエンザやノロウィルス感染予防に効果があるだけでなく、健康な生活をするためにとても大切なことです。「たかが手洗い…」とばかにしないで、しっかり手を洗いましょう。

急にインフルエンザが流行ってきました

インフルエンザが流行っています



おうちの方へ

登校前の朝の健康観察を十分にして登校させてください。

最近、早退する子が増えています。保健室で、次のような会話をする子がいます。

「朝から調子が悪かったけど、がんばっていきなさい、と言われた。」

「朝ごはんを残した。」「熱があったけど、薬を飲んできた。」

「がまんできなくなったら、保健室に行きなさい、と言われた。」など…。

朝登校前に、熱がある場合は、絶対に登校させないでください。熱がなくても、体調が悪い様子がありましたら、なるべくご家庭で様子を見ていただきたいと思います。解熱剤等を飲ませて登校させても、一時的に、薬で熱が下がっただけで、お子さんの体への負担は大きくなりますし、感染症の場合は、学級、学校全体への蔓延につながります。ご理解と他の児童へのご配慮をお願いいたします。

主治医に欠席開始日を正確に伝えてください。

発熱した日や欠席開始日が、主治医に正確に伝わっていないと思われることが、数件ありました。2012年にインフルエンザの出席停止日数が変更され、その期間は「5日を経過」と明記してあります。しかし、それ以下の日数で登校許可を得て登校しているケースがありました。出席停止期間は、解熱後も感染の可能性が残るため、確実な回復だけでなく、感染の拡大を防ぐために定められた日数です。

主治医に受診する際、次の2つを正確に伝え、診断をしていただくようお願いします。

- ①欠席開始日を正確に伝えてください。
- ②発熱、発症した日を正確に伝えてください。

インフルエンザ出席停止基準について

発症した後、5日を経過し、かつ、解熱した後、2日を経過するまで

※「発症した日」「解熱した日」は、0日目となります。

つまり、発症した次の日から5日、解熱した次の日から2日となります。



◎携帯への着信やメール配信の確認をお願いします。

欠席者が急増した場合、その当日、給食後すぐに下校措置をとることがあります。対象となったクラスのお子さんは全員、保護者の方にお迎えをお願いします。そのお知らせは、当日メール配信等で行いますので、着信やメールの確認を随時お願いします。